

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

DECEMBER 2020

81

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

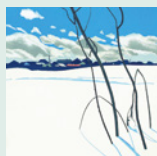
リンテックの新しい働き方

● LINTEC ESSAY

かなりや
金糸雀 森山 良子

第127期
(2021年3月期)
第2四半期
決算情報

証券コード：7966



表紙：雪晴れの街

はり絵画家・内田正泰氏は、独自の技法で色紙をちぎって貼り重ね、日本の美しい自然を彩り豊かに表現。四季折々の風や空気、音や薫りを感じさせ、誰もが抱く「心の原風景」を思い起こさせてくれます。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 スペシャルレポート

リンテックの新しい働き方

8 トピックス

9 新聞広告シリーズ

10 LINTEC ESSAY

かなりや
金糸雀 森山 良子

12 アンケート結果のご報告

14 決算情報

16 セグメント情報

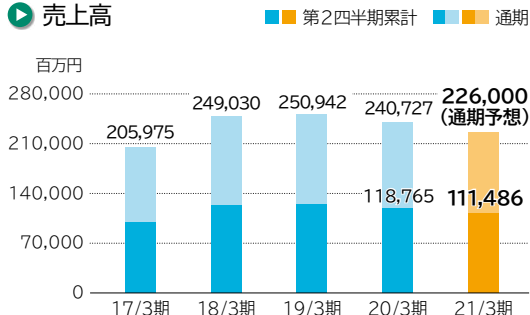
19 株式情報

(免責事項)

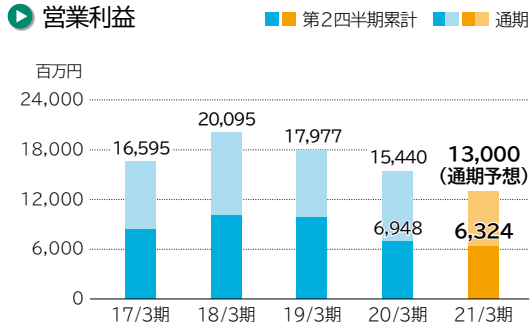
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

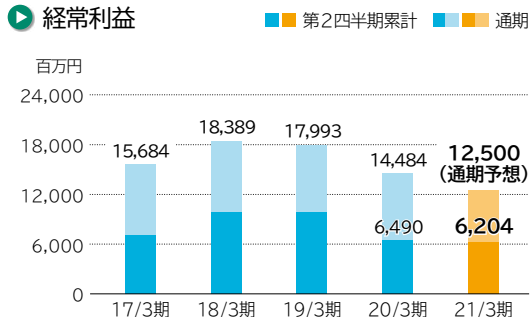
売上高



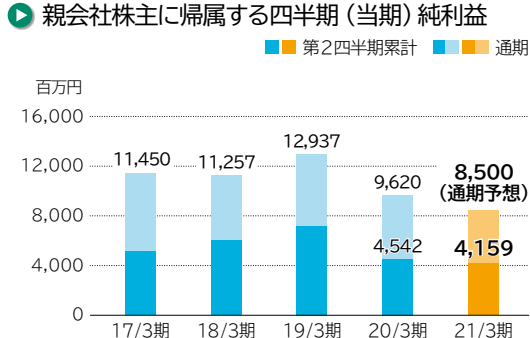
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



▶ 2021年3月期第2四半期連結累計期間（前年同期比）

売上高

111,486 百万円 （6.1%減）

営業利益

6,324 百万円 （9.0%減）

経常利益

6,204 百万円 （4.4%減）

親会社株主に帰属する四半期純利益

4,159 百万円 （8.4%減）



代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**
はっとり まこと

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連製品は好調な需要に支えられて順調に推移しましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響によって他の製品は総じて需要が低調となり、当初の想定を上回る受注の減少や操業の大幅な落ち込みなどから減収減益となりました。

当第3四半期以降は、国内外において受注が回復傾向にあります。予断を許さ

ない経営環境が続くと予想されます。このような状況を勘案し、2020年5月8日に公表した2021年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。配当につきましては、中間配当金は当初予想どおり1株当たり39円とし、期末配当金も当初予想の同39円を変更しておりません。

新型コロナウイルスの収束は依然見通せない状況ですが、収益が悪化した部門の立て直しを図るなど、業績向上に努めてまいります。株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2021年3月期連結業績予想			2020年3月期
			実績
当初予想	修正予想（増減率）		
売上高	2,400億円 ▶ 2,260億円（5.8%減）		2,407億27百万円
営業利益	150億円 ▶ 130億円（13.3%減）		154億40百万円
経常利益	150億円 ▶ 125億円（16.7%減）		144億84百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	110億円 ▶ 85億円（22.7%減）		96億20百万円

リンテックの 新しい働き方



新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、私たちの働き方は大きな変化の時を迎えています。当社では基本的な感染防止対策を徹底するとともに、感染リスクを低減させるための取り組みとして、自宅などで就業するテレワークを推進しています。こうした取り組みは今や感染防止対策にとどまらず、さらなる生産性の向上と多様な働き方の実現にも貢献するものです。今号では、当社の新型コロナ対策とそれに伴って変化した働き方について、従業員の声を交えながらご紹介します。

■ 新型コロナ対策を全社で徹底

新型コロナウイルスの国内における感染拡大については、まだまだ予断を許さない状況が続いています。これまで当社では、営業部門や管理部門を中心に在宅勤務をはじめとするテレワークを導入し、モバイル端末やネットワーク環境の整備などを推進してきました。生産や研究開発現場などではテレワークへの移行は難しいですが、全社的にマスク着用の義務化や手洗い・アルコール消毒の励行、常時換気や会議室などの空きスペースの活用による3密（密閉・密集・密接）の回避といった基本的な対策を徹底し、感染防止と製品の安定供給などに努めています。また、ウェブ会議システムの導入・活用によって出張や外出を大幅

に削減しているほか、フレックスタイム制度の利用拡大や時差出勤の推奨などにより、出退勤時のリスクを低減。これらは“ウィズコロナ”の時代を見据えた新しい働き方として、労働生産性の向上や働きやすい環境づくりにもつながる取り組みと考えています。

全社的にやっている主な施策



マスク着用の義務化



手洗い・アルコール消毒の励行



換気の徹底



密集、密接の回避



ウェブ会議システムの導入・活用



フレックスタイム制度の利用拡大

■ 各現場での対応

コロナ禍においては、各現場でもさまざまな試行錯誤をしながら業務効率の維持・向上に努めています。ここでは、実際にどのような変化があったのか従業員の声をご紹介します。

● 海外営業

オンラインでのコミュニケーションをより丁寧に

私は主に韓国、マレーシア、タイのお客様に向けた半導体関連製品の提案や海外拠点と国内の生産・研究開発部門との調整などを担当しており、以前は月に2回ほど海外出張をしていました。現在はお客様との商談や社内のやり取りも全てオンライン形式に切り替えています。

オンラインでの商談は移動がないのが利点ですが、実際に対面しているわけではなく、加えてお互い母国語ではない英語でのやり取りなので、こちらの考えがどの程度伝わっているのか分かりにくいという面もあります。より丁寧に説明して、うまくコミュニケーションを取っていきたいですね。



事業統括本部アドバンスト
マテリアルズ事業部門
半導体材料部 係長
いちば あつし
一場 惇

● 国内営業



事業統括本部
洋紙事業部門
東京洋紙営業部
いのうえ ゆうすけ
井上 祐輔

新規顧客開拓に向けて新たなアプローチを模索

高級印刷用紙や特殊機能紙の営業を担当しています。新型コロナの感染拡大前は、月に15回程度お客様の元へ足を運んでいました。直接お会いして当社製品に対する評価や新たなニーズ、市場の状況などを把握するのが大事な仕事なので、緊急事態宣言下で訪問できなかった時期は大変でした。今では、感染防止対策を徹底することで訪問できるお客様も増えてきています。

現在、ウェブ会議システムを活用した製品提案も検討しており、今までアプローチしづらかった新規のお客様に向けて提案できるチャンスと前向きに捉えています。

● 管理部門

業務効率が向上し、仕事と家事の両立にも寄与

品質に関する国際規格である「ISO9001」などの各種認証取得に関する業務を担当しています。以前は各拠点に出張して講習会や監査を行っていましたが、今年はウェブ会議システムを活用して実施しました。初めての試みでしたが、監査に必要な書類を事前にデータ化してもらうなどの工夫をすることで円滑に進めることができています。

私生活では、今年結婚して環境が大きく変わり、当初は仕事と家事の両立に苦労することもあったのですが、在宅勤務の日は通勤に費やしていた時間を家事に充てることができるようになったので、非常に助かっています。



品質・環境統括本部
品質保証部
たかぎ まさ
高木 真希

📶 各部署でのテレワーク導入に向けてネットワーク環境の整備やセキュリティ面の強化を推進した、情報システム部の責任者に話を聞きました。



管理本部
情報システム部長
ふじと ひであき
藤戸 英明

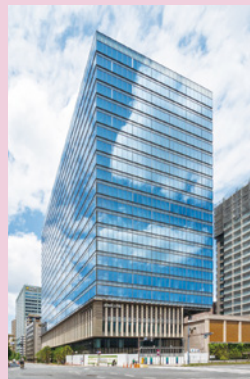
従業員教育の継続・強化でセキュリティ対策を万全に

テレワークの推進に当たり、社外から安全なネットワークに接続できる環境の整備とウェブ会議システムの導入が急務でしたが、これらについては今年11月の営業統括拠点の移転に向けて昨年からの準備を進めていたことが功を奏し、比較的速やかに環境を整えることができました。製品の受発注や各種書類の申請・承認も電子化したことで、この半年で急速に業務の効率化や“脱ハンコ”化も図られました。

今後は業務の進捗管理が可能なシステムの導入などを予定しているほか、蓄積したデータを分析し、経営の効率化に活用できるシステムも構築していきたいと考えています。また、働き方の変化に伴ってセキュリティ対策が一層重要になってきています。システム面はもちろん、従業員への教育も継続・強化し、より意識を高めていきます。

新しい働き方をベースとする新オフィスが稼働開始

この11月、営業の統括拠点である東京・文京区の「飯田橋オフィス」を近隣の後楽園駅・春日駅直結のビルに移転し、「文京春日オフィス」として新たに営業を開始しました。これまで6フロアに分散していたオフィスを新しいビルでは8階と9階に集約。各人専用のデスクを設けない「フリーアドレス」と「ペーパーレス」を主要コンセプトに、コミュニケーションの活性化や業務の効率化をさらに推進していきます。またショールームも設置し、デジタルコンテンツを充実させることで当社の技術や製品を分かりやすく紹介しています。



新オフィスビル外観

■コロナ対策にとどまらず、さらなる働き方の改善へ

当初は人との接触を減らすための施策の一つとして導入されたテレワークでしたが、モバイル端末への切り替えといった環境面の改善、あるいは各従業員の意識の変革や工夫によって、ウェブ会議システムの活用も含めた新しい働き方が定着しつつあります。通勤などの移動時間の大幅な削減による生産性の向上やワークライフバランスの改善にもつながることから、当社では10月からテレワークを勤務体系の一つとして正式に制度化し、在宅勤務に伴って発生する水道光熱費などの諸費用を支給する在宅勤務手当も新設しました。

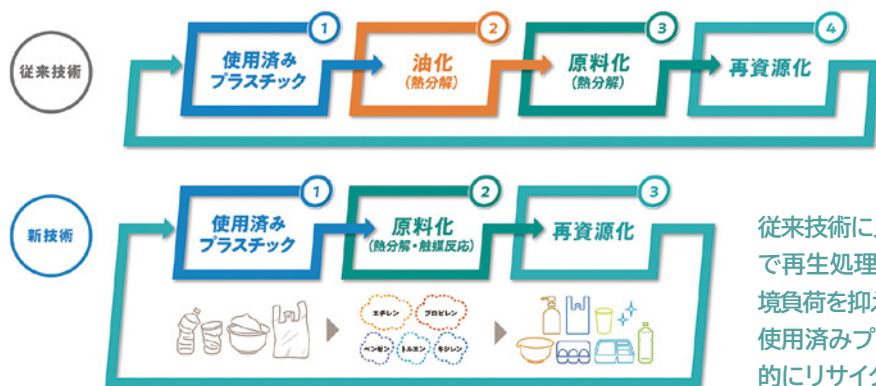
今回、働き方が大きく変化するきっかけとなった新型コロナウイルスの感染拡大は経済や社会に非常に大きなマイナス影響

を与えていますが、それに伴う社会情勢の変化に迅速に対応することは次なる成長へのチャンスであるといえます。今後も従業員一人ひとりのライフスタイルに配慮しつつ、メーカーとして高品質な製品やサービスを安定的かつタイムリーに提供していけるよう、さらなる生産性の向上につながる「働き方改革」を模索・検討していきます。



プラスチックの再資源化に取り組む共同出資会社に資本参加

当社は、使用済みプラスチックの再資源化技術の開発を推進する共同出資会社（株）アールプラスジャパンに資本参加しました。同社は米国のバイオ化学ベンチャー企業と共に、ペットボトルなどのプラスチックを直接原料に戻す新技術の開発を推進。より多くの使用済みプラスチックを効率的にリサイクルできる技術として期待されており、同社では2027年の実用化を目指しています。



従来技術に比べて少ない工程で再生処理ができるため、環境負荷を抑えつつ、より多くの使用済みプラスチックを効率的にリサイクルできる

廃棄処分される小豆の殻を有効活用した特殊紙を発売

当社では、高級感あふれる和の雰囲気演出するファンシーペーパーの新アイテムとして、「小豆殻CoC」^{あずきから シーオーシー}を9月に発売しました。通常は廃棄処分される小豆の殻を木材パルプに混ぜ合わせて抄いた紙で、印刷では再現できない柔らかな小豆の色調と落ち着きのある模様や風合いが特徴です。FSC®*認証林などの適切に管理された森林から得た木材パルプを使用しており、持続可能な森林資源の利用と保全にも貢献しています。手提げ袋や封筒、各種パッケージなど幅広い用途に向けて拡販していきます。

* FSC®: Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) の略称。森林の適切な利用と保全のために活動する国際的な非営利団体
 ※ 当製品はFSC®が定めたCoC認証 (Chain of Custody: 製造・加工・流通における認証制度) を取得しています (FSC®C022824)



手提げ袋や封筒、各種パッケージなどに



小豆の殻を混抄し、柔らかな色調と落ち着きのある模様、風合いを付与

リンテックの エコひいき

小さなことから一つずつ
リンテックの環境配慮

「リンテックのエコひいき」をテーマに、皆様の身の回りで活躍する当社のさまざまなエコロジー製品や、環境配慮への取り組みを影絵風のビジュアルを使って表現した新聞広告シリーズです。

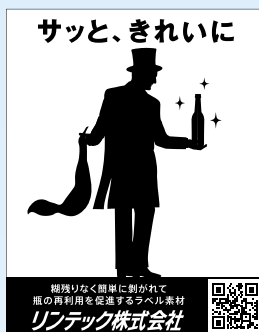
【掲載紙】

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報



10月 October 掲載広告

当社はお茶殻を木材パルプに混ぜ合わせて紙を抄くことで、その香りや風合いを生かした茶殻混抄紙を開発。封筒用紙やパッケージ用紙などとして販売しています。そのほか、小豆殻などを非木材原料として有効活用した混抄紙もラインアップしています。



11月 November 掲載広告

飲料瓶に貼られた表示ラベルには、ぬれても剥がれないことが求められますが、使用後に回収された瓶の洗浄工程では、糊残りなく簡単に剥がれる必要があります。当社のリターナブルラベル素材は、その両方の特性を兼ね備え、瓶の再利用を促進します。



12月 December 掲載広告

環境負荷物質の使用量および排出量の削減に努めている当社では、粘着剤を熱で溶かしながら基材に塗工するホットメルト型粘着ラベル素材を発売。生産工程で有機溶剤を使用せず、乾燥設備や排ガス処理設備も不要な環境負荷の少ない製品です。

詳しくはwebサイトに掲載中！

DREAM FACTORY

www.lintec.co.jp/dream/ad

かなりや 金糸雀

森山 良子

約7ヶ月半ぶりに開催されるコンサート
に向かう車の中で喜びに胸震わせながら、
またデビュー以来、初めての長いブランク
がステージにどのような影響を及ぼすのか
少しの不安を感じながら、このエッセーを
書いている。

子供の頃、何気なく聴いていた「金糸雀」。
『唄を忘れた金糸雀は 後の山に棄てま
しょか。いえ、いえ、それはなりません…
背戸の小藪に埋けましょか…柳の鞭でぶち
ましょか…』

ここ数ヶ月間、この歌を何度も思い出
して心の中で口ずさんでいた。それほど
私自身は本来の“歌う”という仕事ができ
ない、何の役にも立たない居心地の悪い
日々を送りながら、自分の存在を何だか
悲痛な気分で見つめていた。後の山に棄
てられた気分です。

休みの間は、隣に住む娘家族とご飯を
作ったり、一緒に食事をしたりしていた
が、こんなに家族と共に過ごす日々は、
これもまたデビュー以来、初めてのこと。
毎晩、次の日の献立を考えるのが日課に

なり、毎日キッチンに立つことは胸躍る
嬉しい経験でもあった。また、なかなか
仕上げるができなかった大好きな針
仕事も毎日2、3時間と決め、次の日に
何もなければ徹夜でチクチクチク。よう
やく、数年越しで取り掛かっていた大き
なマットを縫い上げることができた。それ
はそれで達成感と嬉しさはあるが、こう
いう日々がいつまで続くのだろうという
ジレンマはどうしてもつきまとう。何かの
役に立ち、自分を生かせる日々とはどうい
うものだろうか。

来し方を考えてみる。かなり幼い頃に、
私は歌い手になると決心し、小学校を卒業
する頃には、両親に「歌い手になります」
と告げた。両親からは「良子ちゃんが考え
ているような甘い世界ではない。ちゃんと
歌の勉強をして、高校を卒業するまでは
待ちなさい」と念を押すように言われた。
その後、中学2年生の頃から叔父（ムッシュ
かまやつの父）にジャズを習い、同時に
クラシックの音楽を学ぶために坂上昌子
先生の門を叩いた。当時、先生は26歳で



森山 良子（もりやま りょうこ）

歌手。1967年に「この広い野原いっぱい」でデビュー。その後、ミリオンセラー「禁じられた恋」をはじめ「涙そうそう」「さとうきび畑」など、数々のヒット曲を生み出す。2002年、第44回日本レコード大賞において最優秀歌唱賞、金賞（さとうきび畑）、作詩賞（涙そうそう）を受賞し3冠を達成。2008年、「紫綬褒章」を受章。2013年に「Ryoko Classics」、2018年に「Ryoko Classics II」とクラシックアルバムをリリースし、近年はオーケストラとのシンフォニックコンサートも大好評を博している。

私は14歳。「人生にとって最も大事なことは、良い師と巡り会うこと」。私にとってこの言葉は大きな、大きな意味を持つ。

長く歌っていると、良い時ばかりではもちろんない。調子を崩し、不安に駆られ、もう歌っていられないのではないかと、どんどんマイナス方向に心が落ち込んでいくこともある。また、簡単な歌ほど歌いづらくなり、なぜ思うように歌えないのだろう…という時に、駆け込み寺のように坂上先生のところに伺う。するとなぜだろうか、先生の一言二言の助言と、響きのある声のための基本的なレッスンを受けることで、いつもびっくりするほどすぐに問題は解決する。

先生は85歳になられ、私は72歳になったが、今でも「先生」「良子ちゃん」という師弟関係は変わらずに続いている。コロナ禍でしばらくレッスンを止めていたが、久々のコンサートのため、フェイスシールドをしながらレッスンを受けた。7ヶ月以上のブランクで錆び付く寸前だったが、歌う

ための体や喉は回復し、歌う気持ちをしっかりと取り戻す意義のあるレッスンだった。“今、何が大切か” 難しく考えていた私に、先生は基本の「基」を授けてくれた。

無限の引き出しを持つ先生のレッスンは、私にとっては一回一回が貴重な宝物を頂く時間でもある。先生は常に歩みを止めることなく、今なお前向きに、また真摯な気持ちで夢に向かう女学生のように声のこを見つめ、考え、探索し、発見を繰り返している。そんな先生の側で、その姿勢を、その背中を追いかけることは、私の人生にとって最高の恩恵と言える。先生から教えて頂いた全て、授かった全てがステージにつながってゆく。

長い間、歌い続ける幸せは、一人だったら半分も実現しなかっただろう。そして今、歌を忘れた金糸雀は何とか後の山に棄てられることなく万全の準備を整え、スタッフやミュージシャンが用意してくれた“象牙の船に、銀の櫂”^{かい}を月夜の海に浮かべ、静かに出航の時を待っている。

長く歌い続けるためには、常に基本を大切にすること。そして歌い続ける幸せは、恩師や仲間などの周りのサポートがあってこそ、より大きなものになると森山さん。リントックも常に社は「至誠と創造」の原点に立ち返り、さまざまなステークホルダーの皆様と共に持続的成長を目指していきます。

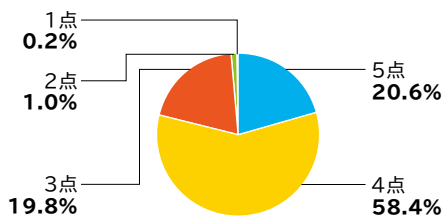
読者アンケートへのご協力ありがとうございました

「LINTEC WAVE」第79号(2020年6月発行)で皆様にご協力をお願いしたアンケートでは、合計1,156通のご回答を頂きました。アンケートの集計結果やお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を基に、今後も一層の経営強化やIR活動の充実に努めてまいります。



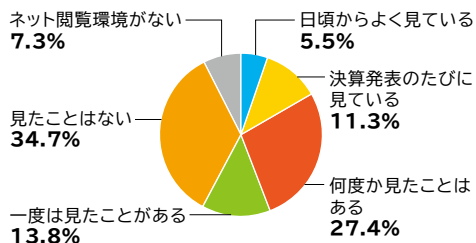
集計結果

Q.今号の「LINTEC WAVE」を御覧いただき、5点満点で点数をつけるなら何点ですか？



4点と回答された方が最も多く、6割近くを占めました。コメントでは、前回と同じく「満点でも良いのだが、さらなる誌面の充実を期待して」というご意見を多数頂きました。

Q.当社ホームページの株主・投資家情報サイトを御覧になったことはありますか？



これまでに一度以上御覧になったことがある方が約58%となりました。インターネット閲覧環境がない方を除くと、約63%の方が御覧になっているという結果になりました。



ホームページが新しくなりました

当社では9月30日にホームページの全面リニューアルを実施し、株主・投資家情報サイトも一新しました。スマートフォンなどでの閲覧性を向上させたほか、知りたい情報をすぐに見つけられる「目的別ご利用ガイド」や当社グループの概要を1ページで説明する「教えて！リンテック」のコーナーを新設するなど、より見やすく、分かりやすいサイトになりましたので、ぜひ御覧ください。



株主・投資家情報サイト

スマートフォンなどで右記の二次元コードを読み取ると、株主・投資家情報サイトへ簡単にアクセスできます。



読者の方からの声

新社長の経営手腕に
大いに期待している

環境に配慮したモノづくりを
今後も積極的に進めてほしい

もっと製品情報を
載せてほしい

経営計画の精度を
高めてほしい

コロナ禍で大変だと思うが、
安定配当を継続してほしい

営業利益率やROEが低すぎるので
ぜひ改善してほしい

10年後のあるべき姿に向けた
成長戦略に期待している

何をしている会社なのか、
一般の人には分かりにくい

毎年、オリジナルカレンダーを
楽しみにしている

ESGやSDGsへの取り組みを
さらに強化してほしい

編集担当者より

- ▶ 2005年から毎年実施している当アンケートにおいて、今回はこれまでで2番目に多い回答数となり、株主数に対する回答率は過去最高の18.6%となりました。記述回答では当誌面についてはもちろん、コロナ禍の中で就任した新社長への激励や今後の経営に期待するご意見も数多く頂きました。当社グループは来期から長期ビジョンに基づく新中期経営計画をスタートさせ、全社一丸となって持続的な成長を目指してまいります。そのほかESGやSDGs、特に環境についての取り組みに期待する声も多くありました。当社では環境配慮製品の開発・拡販を推進しており、今期は環境をテーマにした新聞広告を展開するなど、社名および製品の認知度向上にも努めています。



今期の新聞広告（8月）



当社の特殊紙製造技術を応用した
プラスチック代替の紙ラベル素材

ご協力ありがとうございました

アンケートにご回答いただいた皆様には、当社高級印刷用紙「ニューージュ CoC」を使用した2021年版当社オリジナルカレンダーをお送りさせていただきました。今回は、日本各地の美しい風景をクリーンな色彩と端正な構図で明るく爽やかに描いた、人気イラストレーター・^{さいのぶゆき}斎 信行氏の作品集です。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	161,420	163,660
固定資産	113,571	115,311
① 資産合計	274,991	278,972
流動負債	63,167	66,119
固定負債	19,746	20,554
② 負債合計	82,913	86,674
③ 純資産合計	192,078	192,298
負債純資産合計	274,991	278,972

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
④ 売上高	111,486	118,765
売上総利益	26,662	28,456
販売費及び 一般管理費	20,337	21,508
⑤ 営業利益	6,324	6,948
経常利益	6,204	6,490
税金等調整前 四半期純利益	6,234	6,490
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,159	4,542
四半期包括利益	2,526	2,342

□ポイント！

① 資産合計

現金及び預金、たな卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金、のれんが減少したことなどにより、総資産は39億80百万円減少しました。

② 負債合計

支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、負債は37億60百万円減少しました。

③ 純資産合計

利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、純資産は2億20百万円減少しました。

④ 売上高

アドバンストマテリアルズ事業部門は増加しましたが、そのほかの事業部門が新型コロナウイルスの感染拡大による需要低迷を受けて減少したことなどにより、売上高は72億79百万円減少しました。

⑤ 営業利益

アドバンストマテリアルズ事業部門の増収効果やパルプ・石化原材料価格の下落などがありましたが、そのほかの事業部門の販売数量の減少などにより、営業利益は6億23百万円減少しました。

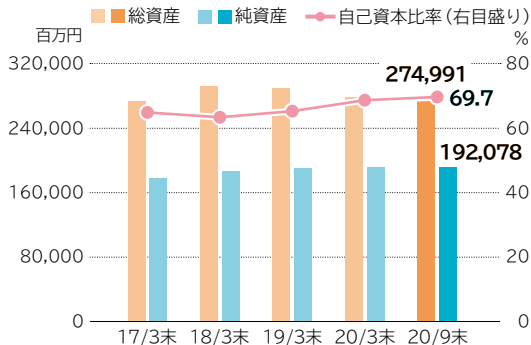
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

営業利益の減少などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億82百万円減少しました。

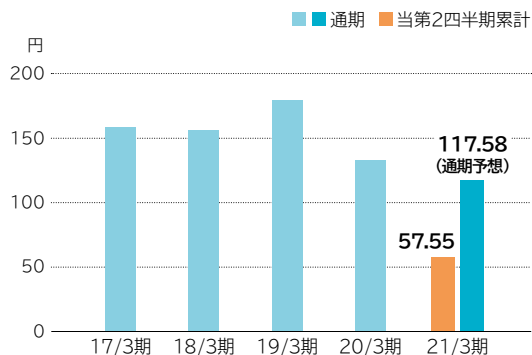
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	13,775	4,774
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,869	△5,804
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,677	△5,075
現金及び現金同等物の 四半期末残高	57,845	51,391

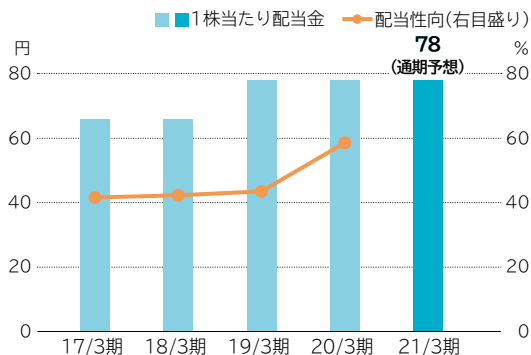
総資産・純資産・自己資本比率



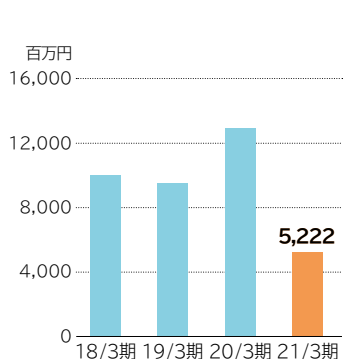
1株当たり四半期(当期)純利益



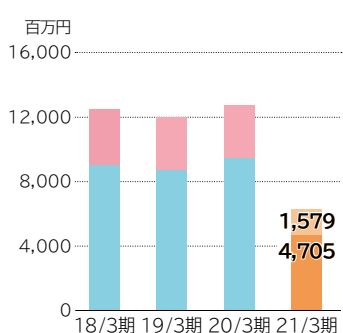
1株当たり配当金・配当性向



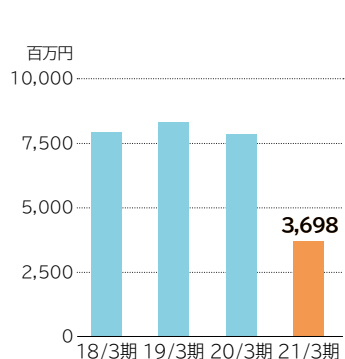
設備投資額



減価償却費のれん償却額



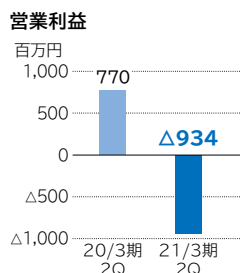
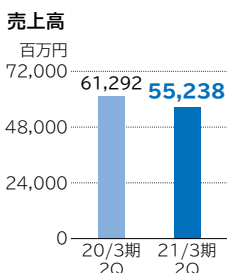
研究開発費



印刷材・産業工材関連

売上高 **552億38百万円** (9.9%減)

営業利益 **△9億34百万円** (一)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

印刷・情報材事業部門 売上高 **410億29百万円** (6.6%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では医療・医薬関連の需要は堅調だったものの、自動車や化粧品関連を中心にさまざまな分野でラベル需要が低調に推移しました。海外においては、米国では前年同期並みとなりましたが、中国やアセアン地域は低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



産業工材事業部門 売上高 **142億8百万円** (18.3%減)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 内装用化粧フィルム
- 屋外看板・広告用フィルム

国内外において、自動車の生産台数減少の影響などにより、二輪を含む自動車用粘着製品やウィンドーフィルムが大幅に減少したほか、各種イベントの中止などに伴って装飾関連フィルムの需要が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



※ セグメント別の営業利益は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

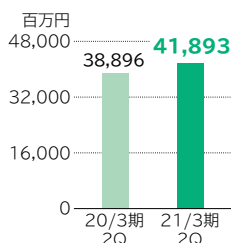
※ () 内は前年同期比

電子・光学関連

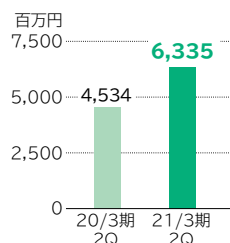
売上高 **418億93** 百万円 (7.7%増)

営業利益 **63億35** 百万円 (39.7%増)

売上高



営業利益



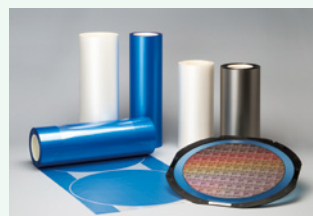
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高 **262億68** 百万円 (25.0%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

5G関連やテレワークによるパソコンなどの需要増加により、半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープともに好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 **156億24** 百万円 (12.7%減)

主要製品

- 偏光・位相差フィルム／粘着加工
- 偏光フィルム／表面加工

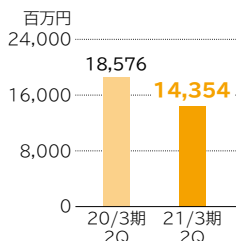
光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビ用およびスマートフォン用などの中小型向けともに需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



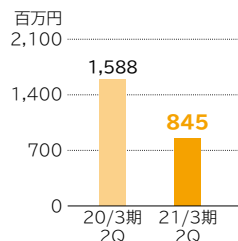
洋紙・加工材関連

売上高 **143億54** 百万円 (22.7%減)営業利益 **8億45** 百万円 (46.8%減)

売上高



営業利益



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

洋紙事業部門 売上高 **69億69** 百万円 (18.1%減)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙

封筒用紙はテレワークにより需要が低迷し、色画用紙は休園・休校による影響を受けて低調に推移しました。また、ファストフード向けの耐油耐水紙も低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



加工材事業部門 売上高 **73億85** 百万円 (26.7%減)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

航空機用途などの炭素繊維複合材料用工程紙、シューズや自動車用の合成皮革用工程紙が需要低迷の影響を受けて大きく落ち込みました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



売上高構成



営業利益構成



株式情報 (2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式4,338,782株を除く)	72,291,958株
単元株式数	100株
株主数	6,147人

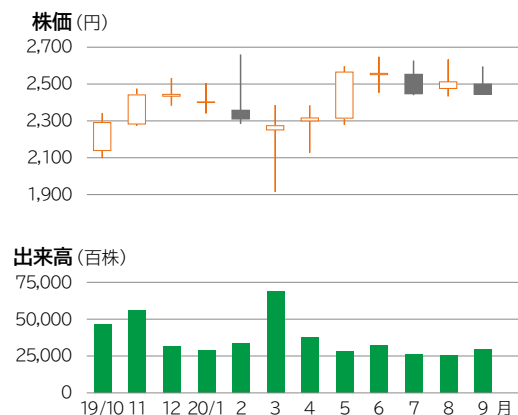
大株主の状況 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本製紙株式会社	21,737	30.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,366	6.03
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,353	6.02
全国共済農業協同組合連合会	2,625	3.63
庄司 たみ江	1,796	2.48
塩飽 恵以子	1,543	2.13
株式会社かんぽ生命保険	1,480	2.04
リンテック従業員持株会	1,051	1.45
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	989	1.36
JP MORGAN CHASE BANK 385781	926	1.28

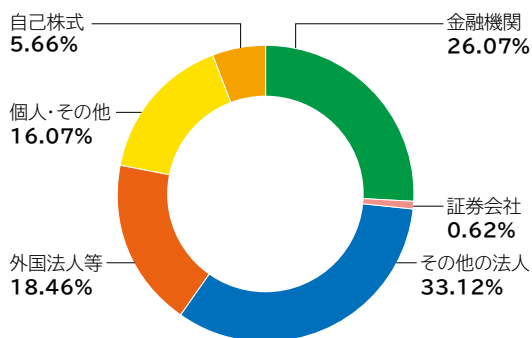
注1. 当社は自己株式4,338,782株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2019年10月～2020年9月)



所有者別分布比率



会社概要 (2020年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	232億8,531万5,161円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,948人 単体: 2,584人 (2020年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	0120-232-711
・フリーダイヤル	
・ホームページアドレス	www.tr.mufig.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス

www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

IRメール配信サービス のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、下記の当社株主・投資家情報サイトよりご登録をお願いいたします。

www.lintec.co.jp/ir



※スマートフォンなどで上記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

発行 広報・IR室 2020年12月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。